

JIS

一般構造用軽量形鋼

JIS G 3350 : 2017

(JISF)

平成 29 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	相 浦 直	一般社団法人軽金属溶接協会
	栗飯原 周二	東京大学
	一 谷 隆	高圧ガス保安協会
	井 上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (デンカ株式会社)
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会 (三菱自動車工業株式会社)
	里 達 雄	東京工業大学名誉教授
	篠 崎 和 夫	東京工業大学
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長谷川 隆 代	昭和電線ホールディングス株式会社
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	水 沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山 口 富 子	九州工業大学
	山 崎 裕 一	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社銭高組)
	吉 田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 32.11.25 改正：平成 29.7.20

官 報 公 示：平成 29.7.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 長井 寿)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号並びに適用厚さ	1
4 製造方法	1
5 化学成分	1
6 機械的性質	2
7 形状、寸法及び質量	2
7.1 断面形状、並びに標準断面寸法の呼び名、断面寸法、断面積及び単位質量	2
7.2 標準長さ	7
7.3 質量	7
8 形状及び寸法の許容差	8
9 外観	8
10 試験	9
10.1 分析試験	9
10.2 引張試験	9
11 検査	10
12 再検査	10
13 製品の呼び方	10
14 表示	10
15 報告	10
附属書 A (規定) めっき鋼板及び鋼帯を用いる場合の規定	12
附属書 B (参考) 軽量形鋼の断面特性	14
解 説	20

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS G 3350:2009** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 30 年 7 月 19 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS G 3350:2009** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

一般構造用軽量形鋼

Light gauge steel sections for general structure

1 適用範囲

この規格は、建築その他の構造物に用いる冷間成形の軽量形鋼（以下、軽量形鋼という。）について規定する。

なお、めっき鋼板及び鋼帯を用いた場合の軽量形鋼は、本体及び**附属書 A** に規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品—検査文書

JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯

JIS G 3317 溶融亜鉛—5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯

JIS G 3321 溶融 55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯

JIS G 3323 溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

3 種類及び記号並びに適用厚さ

軽量形鋼の種類は、1 種類とし、種類の記号、断面形状による名称及び断面形状記号は、**表 1** による。軽量形鋼の適用厚さは、**表 2** による。

4 製造方法

軽量形鋼は、熱間圧延鋼板及び鋼帯、冷間圧延鋼板及び鋼帯、並びにめっき鋼板及び鋼帯から冷間成形¹⁾によって製造する。めっき鋼板及び鋼帯から製造する場合のめっきの種類は、**A.1** による。

注¹⁾ 通常、ロール成形及びプレスベンダー加工が用いられる。

5 化学成分

軽量形鋼に用いる鋼板及び鋼帯は、**10.1** の試験を行い、その溶鋼分析値は、**表 3** による。